実践したプランの内容と成果（実践したプランのだけ記入する内容です）

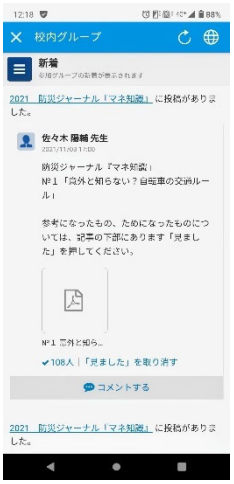
複数のプランを実践した場合にはプランの数だけ，ここから後の５つの表をコピーして記入してください
必要に応じてセル（表の枠）の高さを調整していただいて構いません
「★」は任意ですがそれ以外は極力埋めてください

記入日	西暦 2021 年 12 月 26 日（2021 年度のチャレンジプラン）
実践団体名	京都府立東稜高等学校キャリアコースライフマネジメントクラス
実践番号（団体内・年度内の通し番号）	2
タイトル	動画教材、ICT 配信活動にチャレンジ
実践担当者のお名前	山本　雄貴、佐々木　陽輔、森野　稔弘 岸畑　祐輝穂、糟野　譲司

実践にかかった金額	ほぼ０円
実践の準備にかかった時間	約２０時間
実践活動を実施した日時	西暦 2021 年 4 月 8 日～10 月 29 日
実践の所要時間	約 5 時間
実践の運営側で動いた人の人数	教職員 5 名、生徒 79 名
防災教育の対象者の属性	高校生、小学生、PTA,保護者など
防災教育の対象者の人数	1200 名以上(本校生徒 620 名、小学生 80 名 保護者 620 名)
実践を行った都道府県と市区町村	京都市伏見区
実践を行った具体的な場所	地域の小学校、京都府立東稜高等学校
★実践に必要だった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	学習支援アプリ Classi、タブレット端末、京都市ハザードマップなど

達成目標 社会的地域的時代的背景や実践の目的や何を達成しようとしたかを書いてください	・動画作成に必要なスキル、表現力を身につける ・学習支援アプリを使った防災ジャーナル等の配信を通し、校内の防災意識を高める ・地域の小学校の実態を調べ、適切な防災学習を生徒が理解を深める	
どの力を身につけようとしましたか？ **該当しないものを削除し該当するものを１つ残す**	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに

<table>
<tr><td>実践内容・方法

これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください
適宜写真や図表等を入れていただいて構いません</td><td colspan="2">◎２年生
９～10 月　防災ジャーナル『マネ知識』作成作業
(2 人 1 組で災害、交通安全などのジャーナルを作成)
11 月　教育プラットホーム Classi にて『マネ知識』配信
(生徒・教職員、保護者のグループに
それぞれ週に 1 回配信、またホームページにも掲載)
 
1 月　昼休みを使い防災の知識について
『防災ちゃんねる』を週に 1 回放送。
こちらは全国防災ジュニアリーダー育成オンライン会議のアクションプランの発表を受けて実践
◎３年生
５～７月　チャレンジプランプロジェクトチームより
・自転車交通安全 CM コンテスト動画作成チーム
(KBS 京都のコンテストに応募)
・M-TUBE 動画配信チーム
(地震の対応などの動画をアップロード)
９～10 月　地域の小学校とのオンライン出前授業準備
10 月末　小学校とのオンライン授業実践

(ZOOM を用いて生徒たちが校区の危険エリア、川の氾濫や土砂災害、火災の対応や避難の方法、また交通安全などの分野で写真を用いてクイズ形式で実施)</td></tr>
<tr><td>得られた成果

どのようなチャレンジをし，その結果何が得られたかを書いてください</td><td colspan="2">・昨年度不十分に終わった小学校の出前授業は、ZOOM でつながり、地域の実態に合わせた防災学習ができた。
・2 年生も昨年度に引き続き防災ジャーナルを配信し、知識の習得、表現力を高めることができた。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">どのくらい身につきましたか？

該当しないものを削除し該当するものを残す</td><td>知識・技能</td><td>かなり</td></tr>
<tr><td>思考力・判断力・表現力</td><td>大いに</td></tr>
<tr><td>学びに向かう力・人間性</td><td>大いに</td></tr>
</table>

課題・苦労・工夫 やってみてわかった新たな課題，苦労した点，工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	オンラインの利点を活かすことはできたが、教職員がその環境を整えている現状がある。今後に向けて、ICT の設定なども出来る限り生徒たちが積極的に行えるよう授業展開にも工夫をしていきたい。その一方、アプリの活用についてはこちらが生徒から学ぶことがあった。

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ **1 つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください**	
伝えたい相手	学校関係者
伝えたい内容	現状の学校環境にあるツール(ホームページや学習支援アプリなど)を活用することの有効性

ここまで，実践したプランの数だけ記入する内容です